

有限会社エコ・ライス新潟  
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100  
TEL:0258-66-0070 & FAX:0258-66-0447

# クイーン倶楽部だより 6月号

## 産学地域連携Project

### 東京家政大学の学生と 幻の酒米「白藤」復活に挑戦！

第1弾

### 5/3～4、東京家政大学の学生と 幻の酒米「白藤」の田植えを行いました



初日の3日は、長岡造形大学の准教授・澤田雅浩先生より新潟中越地震について講義を受け、実際に被災した山古志地区を見学しました。地震から2年半経ちましたが、「復旧」は進んでも「復興」には至っていない現状に、「中山間地」「高齢化」の現実を知りました。

4日は晴天に恵まれ、絶好の田植え日和。矢代田神社にて「田植え大黒天」の掛け軸・天狗の舞・人形浄瑠璃を奉納し、さっそく田植えスタート！最初は慣れない泥の中での作業に戸惑い気味でしたが、泥まみれになりながら、一本一本丁寧に植えていきました。

今回は6月頃、田んぼの除草を体験予定です。

## 白藤とは

明治後期～昭和初期まで、新潟酒造米の花形だった品種。「白藤」で醸されたお酒は「風味に富み口中のサバケのよい」「新潟らしいお酒」と地域の人々に愛され、また高く評価されていた。しかし、白藤は丈が長く育つ性質を持つ為倒伏しやすく栽培が難しいのに加え、育てやすい丈の短い新品种の登場により市場から消えてしまった幻の酒米。

裏面もご覧ください

## Dr中村のお米の話



中村 信也(なかもらのぶや)

整形外科医師。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

我が「早乙女田植え保存会」は、要請あればどこでももんべ姿で駆けつけますのでご連絡ください。  
心ははや「稲刈り」に向かっています。稲刈り、稲干し、落穂拾いなど懐かしき行事が待っています。その前に草取りと田車押しの手入れ作業もおこなうという話もあります。その折は会員の皆様も昔取った杵柄の気持ちで是非の参加を。



中村先生も笠をかぶり田植えに参加

## 第5回 無事に早乙女祭を終了

5月4日に無事に古式豊かに明治末期から昭和にかけて一世を風靡した稲「白藤」の田植えを済ませました。当日は五月晴れ下に、テレビと新聞、各二社の取材付で華やかに実施いたしました。

東京家政大学派遣の早乙女陣が全員「もんぺ」に「姉さんかぶり」の懐かしい姿に、泥墨で化粧した顔でインタビュに答えていましたので演出効果抜群でした。おかげでテレビでは結構長く提供してくれ、新潟人に東京家政大をしらしめたのでありがたい限りです。

《人形浄瑠璃を演じられた西橋健さんは、佐渡ヶ島の伝統文化の一つ、文弥人形の第一人者。新潟の伝統に触れました。お二人の活躍は6月にNHK全国ネットにて放送予定です。》

《二日間の強行スケジュールにも関わらず、学生たちは本当に元気。宿泊は、寺泊にある見附市海の家でしたが朝6時からビーチバレーボール大会で回転レシーブ！。若さがうらやましい！》

《中村先生は、秩父の山奥にある築100年の元養蚕農家を別邸としています。先日も自家製鴨のロースをいただきました。》